

授業改善推進プラン 2年

令和7年度 小平市立小平第十三小学校

	身に付けさせたい力	手だて
国語科	・ 順序よく話したり、大事なことを落とさないで聞いたりする。	・ 自分の考えを話す場面を計画的にとる。話し方の話型を示すことで順序よく話せるようにしたり、聞き方のポイントを伝えて話の聞き方のルールを身に付けさせたりする。
	・ 文章の読解や文章を書く力を伸ばす。	・ 文章の基礎的な読み取りの仕方を学び、自分の考えなどを順序を考えて書くことを通して日常的に書く習慣を身に付けさせる。文の構成を意識して書けるようにする。
	・ カタカナ、漢字を正しく習得する。	◎スキルとデジタルドリルを活用し、授業や朝学習で毎日カタカナや漢字の練習をさせる。作文などの添削を丁寧に行う。
算数科	・ 基礎的な計算力を定着させる。	◎授業の初めや、単元のまとめの時間に、計算スキルやデジタルドリルで繰り返し練習させ、基礎的なし算・ひき算の計算の習熟、かけ算九九の暗唱ができるようにする。また、AI機能を搭載したタブレットアプリを活用することで得られるデータも活用し、きめ細かく学習の状況を把握・分析したり、個々の児童に合った多様な方法で学んだりしていくことで、確実な資質・能力の育成につなげる。
	・ 考え方を図で表したり、発表したりする力を高める。	・ 問題を読み取り、図や言葉、式で表現したり、全体の場で発表したりする機会を意図的に設定する。考えを説明するための具体的な方法を示していく。
生活科	・ 自然や身の回りのものに興味・関心をもち、自分の気付いたことや自分の思いを伝える。	・ 自然や身の回りに関心をもたせる題材や教材を活用する。観察カードの他に学習者用端末の活用を図り、観察したことや気付いたことを文章や絵で表現したり、伝えたりさせることで、関心を高める。
	・ 友達と協力しながら、身近な人や自然、文化とかかわって楽しく活動しようとする。	・ 児童が楽しく活動できる場面を設定し、意見を出し合せていろいろな考えに触れさせることで、人や自然、文化とのかかわりに気付かせる。
音楽科	・ 友達の声や音と合わせて楽しく歌ったり演奏したりすることができる。	・ 体の動きを伴った活動や互いに聴き合う活動を取り入れ、友達と一緒に演奏する楽しさを味わえるようにする。
	・ 鍵盤ハーモニカなどの楽器の基本的な奏法を身に付ける。	・ 正しい奏法や演奏の仕方の工夫による音色の変化に気付かせるために、毎時間、楽器に触れる時間を設ける。
図画工作科	・ クレパスや絵の具の使い方を身に付けたり、材料の特性を生かしたりして、生き生きとした作品を生み出す。	・ 絵の具の使い方をさらに習熟させたり、材料の特性を感じさせたりして、生き生きとした自由な表現をさせる。
	・ 友達の作品の良さに気付き、自分の作品にも取り入れようとする。	・ 友達の作品をお互いに認め合い、その良いところを吸収し合う場面を設定する。
体育科	・ 安全に気を付け、友達と仲よく運動に取り組む。	・ 意識して体を動かせるように、安全に配慮した正しい運動の仕方を教える。 ・ 励まし合いながら運動に取り組ませるようにする。 ・ 勝敗にこだわらず、力を合わせて運動に取り組めるようにする。
	・ 鉄棒・なわとび・水泳・体づくり等の一人一人の技能を高める。	・ 鉄棒・なわとび・体づくり等、各授業で振り返りの時間を設け、目標をもって努力することを大切にする。
	・ 表現、リレー・ボール遊びなどの集団的なゲームに楽しんで取り組む。	・ 一人一人の小さな達成を友達と大きく喜び合う場面を設定する。勝敗にこだわりすぎずに、頑張ったことを認め合うような声掛けをする。
特別の教科 道徳	・ 一人一人が自分の考えをもち、よりよく生きるための心情を育てる。	・ 児童の心に響く教材を選ぶ。 ・ 誰でも自分の考えをもち発言できるように、発問を工夫する。
	・ 道徳的価値を現実の生活の中に生かす。	・ 自分についての振り返りをワークシートにまとめ、ファイルに積み重ねることで、生活の中で生かせるようにする。 ・ まとめの話では、今後の学校生活や家庭生活での生かせる発問を行い、道徳的価値と結び付けさせる。

手だての ◎ は令和7年度の学年における指導の重点を示します。
手だての下線部は、改善に向けた具体的な方策を示します。